



本年度も残すところあと一か月となりました。この一年間で、子どもたちは心も身体も大きく成長し、進級や進学に向けて自信がみなぎっている様子が見てとれます。まだまだ寒い日が続きますので、しっかりと体調を整えて、元気に新年度を迎えられると良いですね。



3月3日は 耳の日 です



「耳の日」は耳や聴力について興味をもつきっかけとなるように制定された記念日です。人が感じる刺激の中で聴覚からの刺激は、視力に次いで2番目に大きな割合を占めています。この機会にお子さんの耳のチェックをしてみましょう。気になる症状が見られたら、耳鼻科にご相談ください。



- 会話中に何度も聞き返す
- 小さな声や離れた所から声をかけると反応しない
- 後ろから呼ばれると、気付かないことがある
- テレビの音を大きくしたり、近づいて見ている
- 耳をよく触っている
- どちらか片方の耳で聞こうとする

感染予防には… 手洗い と 咳エチケット

風邪やインフルエンザの流行りやすい時期がまだ続きます。さらに今年は新型コロナウイルス感染症の流行など、心配なニュースを目にすることも多いのではないのでしょうか。



◇◆ポイント◆◇

- ◎手を洗ってウイルスを体に入れないようにする
- ◎咳エチケットを守って周囲に移さないようにする

感染予防に努めて、
みんなで元気に過ごしましょう



早寝で元気!

子どもの脳は、日中に受けた刺激を寝ている間に整理し、発達していきます。また睡眠中に出るホルモンは、身体を成長させたり体調を整えてくれる働きがあります。

進級や進学を間近にひかえるこの時期に、いま一度生活習慣をふり返り、規則正しい生活を送れると良いですね。



3月号

～おたのしみコーナー～

ぱんだくんを はしをわたって
たからばこまで
つれていって あげよう！

えんぴつで せんをかくて
ぱんだくんと たからものを むすぼう



せんがかけたら、かんごしさんにこのかみをわたしてね。すてきなプレゼントがあるよ。
ひとりでできないおともだちは、かぞくのひとといっしょにやってみてね♪

20日まで _____ くり なまえ _____

きりとり

【 たくさんの養育者に囲まれた 幸せな人生の始まり 】

～保育所から始める ヒト創り～

ヒトの子育ては母親が主な養育者であるべきだ、という「三歳児神話」がつい最近まで信じられてきました。しかし近年の人類学や社会学では、昔のような狩猟採集社会では、母子という二者関係に限定されない複数で共同して養育する形態が一般的であると言います。（ヒトの発達の謎を解く、明和政子 ちくま新書）

アフリカのアカ地方では、母親を主な養育者としつつも、およそ20名が子どもの主な養育に関わり、そして実際には母親を含む5～6人にしぼられていくそうです。ヒトは本来血縁だけでなく非血縁を含む複数の養育者が共同で子育てを行ってきた（アロマザリング、共同養育）という見方が歴史的に伝えられています。共同養育の中で特に大切に配慮されなければならないひとつめは「刺激的接触」ふたつめは「道具的接触」であり最後は「情愛的接触」と呼ばれるものです。これが正に（社福）童心会の人間教育（Care and Education 療育）の方針であります。

童心会の保育方針

- ・わたしをぎゅっとして
- ・わたしを見つめて
- ・わたしを聞いて
- ・わたしを呼んで

このようなふれあいが、乳児の学習動機を高め、主体的な行動を引き出すのは、養育者からの情愛的接触なのだそうです。

私たち（社福）童心会の仲間たちは一日7回以上「だきしめ言葉」を伝えあうことを義務づけあっています。

それは養育者や他者と身体を触れ合わせる経験が、発達初期の認知発達と情動と感情の学習（心身の健康）につながっていることを確信していたからです。

社会福祉法人 童心会
理事長 中山 勲